



★インタビュー

この人に聞きたい!

第9回 県北支部

古市 人見 会員

聞き手・文：飛田 憲明 通信員



県北支部に所属する100名強の行政書士の中でも行政書士歴27年のベテラン古市会員にインタビューをお願いしたところ、快く引き受けていただきましたので、日立市の事務所を訪問し、今までのいろいろな経験を伺うことができました。趣味の登山については興味を惹かれることがたくさんありました。

通信員 本日は、よろしくお願ひします。早速ですが、行政書士の開業時期や年齢、動機などを教えて下さい。

古市 私が開業したのは平成5年の42歳の時です。動機はいろいろ。高校の同級生の親が士業をやっていて面白そうに見えたこと。大学卒業後は何度か職を変えたこと。開業するまでは東京に住んでいたが、将来のことを考えて地元に戻る決心をしました。最初は、行政書士業、宅建業、損保業を兼業していたが、整理していき今は行政書士業に専念しています。

通信員 ありがとうございます。ところで、今までの業務で一番大変だったことは何ですか？

古市 ある土地の相続人調査ですね。これは、相続関係が複雑で、何と終了までに5年もかかり、相続人は176人にも及びA1用紙が相続人でいっぱいになりました。後にも先にもこんな大人数の相続業務はありません。

通信員 恐れ入りました。個人的に古市先生（今年70歳）の登山に興味があるので、登山を始めるきっかけや、その後の登山に関する事などぜひ聞かせてください。

古市 きっかけは私が55歳の時に、知道会という高校の会のメンバー数名で水府の竜神大橋近くの明山（みょうやま）へ登った時のことです。メンバーの中の70歳過ぎの先輩の歩き方を見てです。全体で4時間ちょっとの登山でしたが、私はくたくた、先輩は平気な顔。これじゃあいけないと思い、一念発起しました。最初は、御岩神社の御岩山。短い距離でも息が切れて大変でした。そこが山登りの始まりです。まず、茨城の山100山を踏破して、今は日本100名山に挑んでいます。現在70の山を登ったので、あと30山を踏破することが今後の目標です。毎年初夏から晩秋にかけて年8山、踏破を目指します。今年は鳥取県にある大山（だいせん）からスタート。それとついでに山の近くの名所旧跡を巡るのが楽しみです。その為にも、週に数日筋トレ、週末には阿武隈山地の最南端の風神山へ3時間ほどの山散歩をして体を鍛えています。

通信員 先生の精神力、体力には感心しました。ぜひ、残り30山踏破してください。応援しています。話を聞くだけで元気になります。今後も仕事に興味に頑張ってください。本日は、お忙しいところ貴重なお話しありがとうございました。

